

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		69	認知症総合支援事業		部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（健康福祉総合相談担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-② 認知症高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。			
	（関連施策目標等）		7 公衆衛生や健康危機管理が充実したまち			
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	認知症高齢者及びその家族に対して早期に適切な支援を行う仕組みづくりに取り組む。			
	2016(H28)年度市政運営方針	○	認知症の方とその家族、地域の住民、専門家などが気軽に集う場である「認知症カフェ」を設置する法人等を支援し、その普及に努める。			
	2017(H29)年度市政運営方針	○	認知症高齢者が尊厳を保ち地域で生活できるよう、認知症サポーターの養成を拡大する。			
	2018(H30)年度市政運営方針	○	初期対応を行う初期集中支援チームを普及し、活動を広げるとともに、認知症サポーターの拡大などにより正しい知識の普及を図る。			
事業概要 （目的・内容等）			認知症高齢者が地域の中で尊厳を保ち安心して暮らせるよう、認知症サポーターの養成、認知症ケアパスの配付、認知症初期集中支援チームによる支援を行う。 【拡充(平成28年度当初)】 認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場である「認知症カフェ」を設立する法人・個人に対し、カフェの立ち上げから2年間に限り、スタッフの研修・人材育成等に係る経費を補助する。(国39%、府19.5%、保険料22%、市19.5%)			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		認知症に対する正しい知識と対応方法を学び、認知症の人やその家族を見守る応援者である認知症サポーターの養成を行ってきた。平成27年度から新たに、「認知症初期集中支援チーム」による支援を推進するとともに、認知症の状態に応じた適切な介護サービスや医療提供の流れを示した「認知症ケアパス」の作成・配付の取り組みを進めている。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・認知症サポーターの養成・普及・啓発・活動 ・認知機能低下・変化の早期の気づきと対応を目的としたチェックシートの導入、認知症ケアパスの配付、認知症初期集中支援チームによる支援の実施 【拡充(平成28年度当初)】 ・認知症カフェ設立支援： (制度の概要) 立ち上げから2年間に限り上限5万円	
	実績（評価）	・認知症サポーター養成講座受講者数:2,900人 ・認知症ケアパス配付数:13,000部 ・認知症初期集中支援チーム(2医療機関) 新規支援依頼件数:1件(平成27年12月～累計支援件数:5件) ・認知症カフェ登録件数:16件、設立支援事業申請数:2件	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・認知症サポーターの養成・普及・啓発・活動 ・認知機能低下・変化の早期の気づきと対応を目的としたチェックシートの導入、認知症ケアパスの配付、認知症初期集中支援チームによる支援の実施	
	実績（評価）	・認知症サポーター養成講座受講者数:2,388人 ・認知症ケアパス配付数:10,000部 ・認知症初期集中支援チーム(2医療機関) 新規支援依頼件数:6件(平成27年12月～累計支援件数:11件) ・認知症カフェ登録件数:16件	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・認知症サポーターの養成・普及・啓発・活動 ・認知機能低下・変化の早期の気づきと対応を目的としたチェックシートの導入、認知症ケアパスの配付、認知症初期集中支援チームによる支援の実施 ・認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置	
	実績（評価）	・認知症サポーター養成講座受講者数:1,771人 ・認知症ケアパス配付数:8,000部 ・認知症初期集中支援チーム(2医療機関) 新規支援依頼件数:4件(平成27年12月～累計支援件数:15件) ・認知症カフェ登録件数:17件 ・認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・認知症サポーター養成講座受講数:1,316人 ・認知症ケアパス配布数:10,000部 ・認知症初期集中支援チーム(2医療機関)新規支援依頼件数:4件(平成27年12月～累計支援件数:19件) ・認知症カフェ登録件数:14件 ・認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに配置
備考		

課題・今後の対応	高齢化率の上昇とともに、認知症高齢者の人口増加が予測され、認知症高齢者が地域の中で可能な限り自立した生活を維持し、安心して暮らせるような地域社会が求められている。認知症に関する正しい知識の普及・啓発、認知症高齢者や家族を見守る体制整備の充実が必要である。認知症サポーター養成については累計で24,213人となり、目標値を94.2%達成した。新型コロナウイルス感染症拡大防止による地域の講座開催等が困難な状況を顧み、令和2年度は認知症の早期発見・早期受診の普及啓発を重点的に取り組んでいく。 認知症カフェについては、運営者の懇談会を行い、カフェ参加者の本人・家族の声や課題等を出し合っていた。今後も認知症本人と家族の意見を聞きながら、地域包括支援センターや認知症地域支援推進員と連携し、情報共有を行いながら、支援者や地域住民も集える場として地域に根付くよう支援をしていく。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)	○		12,480	15,788	18,738	21,126	22,897	24,213	25,700	人	
指標の説明			令和元年度:1,316人						当初目標値	達成年度	
認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)									20,300	29	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
認知症ケアパス配付数			—	—	13,000	10,000	8,000	10,000	設定なし	部	
指標の説明			認知症サポーター養成講座等での配付数:10,000部						当初目標値	達成年度	
認知症ケアパスを配布した数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明									当初目標値	達成年度	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明									当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,247	486	243			275	243
2017(H29)年度	1,690	659	330			371	330
2018(H30)年度	7,513	2,893	1,446			1,728	1,446
2019(R1)年度	7,637	2,940	1,470			1,757	1,470

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		70	市民後見推進事業		部・課	健康福祉部 健康福祉総務課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-② 認知症高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明		○	認知症などで判断能力が十分でない人の生活支援に取り組む。		
	2016(H28)年度市政運営方針		○	認知症などで判断能力が十分でない人の生活支援を行うため、市民後見人を養成するとともに、その活動を支援する。		
	2017(H29)年度市政運営方針		○	認知症などで判断能力が十分でない人の生活支援と権利擁護のため、市民後見人の登録及び活動を支援する。		
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加により、成年後見人制度の需要が増大することが見込まれることから、親族以外で後見業務を行う第三者後見人としての市民後見人を養成する講座を開催し、市民後見人として活動する市民を養成するとともに、円滑に市民後見人活動を行えるよう継続した支援を行う。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成28年度新規事業。 平成27年10月に大阪府に対し地域医療介護総合確保基金の申請を行ない、平成28年3月に基金事業としての採択を受ける。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	養成講座の開催、受講者のうち登録を希望する者に対し選考委員会を経てバンク登録の実施			
	実績（評価）	①養成講座開催数及び参加人数:養成講座オリエンテーション(1回)63人、そのうち基礎講座(4回)に22人が参加した。実務講習(13回)の修了者数13人のうち、11人が市民後見人バンクに登録された。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①→推進 ②バンク登録者への活動支援(研修等)			
	実績（評価）	①養成講座開催数及び参加人数:養成講座オリエンテーション(1回)16人、そのうち実務講習の修了者数4人のうち、4人が市民後見人バンクに登録された。 ②バンク登録者への研修を6回行った。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	①→推進 ②バンク登録者への活動支援(研修等)			
	実績（評価）	①養成講座開催数及び参加人数:養成講座オリエンテーション(1回)9人、そのうち実務講習の修了者数4人のうち、2人が市民後見人バンクに登録された。 ②バンク登録者への研修を6回行った。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	①養成講座開催数及び参加人数:養成講座オリエンテーション(1回)5人、そのうち実務講習の修了者数4人のうち、3人が市民後見バンクに登録された。 ②バンク登録者への研修を6回行った。
備考		

課題・今後の対応	認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性が高まり、今後成年後見制度において、後見人等が高齢者の介護サービスの利用契約等を中心に後見等の業務を行うことが予測される。そういった背景から弁護士などの専門職後見人がその役割を担うだけではなく、専門職以外の市民後見人の活躍の場が期待されている。 本市においては、平成28年度から市民後見人の養成を開始しているが、未だ受任事例がない。今後、受任に伴い市民後見人の支援に関する課題等が予測されることから、支援体制の整備を行っているところである。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
市民後見人バンク登録者数(累計)				-	-	11	15	17	20	26	人
指標の説明				令和元年度の市民後見人養成講座修了者数4人のうち登録を希望する者に対し選考委員会を経て、3人がバンク登録された(累計:20人)。							当初目標値
養成講座を受講し、市民後見人バンクに登録された人数											
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明											当初目標値
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明											当初目標値
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明											当初目標値

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,370	0	1,027	0	0	0	343
2017(H29)年度	1,704	0	1,278	0	0	0	426
2018(H30)年度	1,439	0	1,080	0	0	0	359
2019(R1)年度	1,821	0	1,173	0	0	0	648

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	, 用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	-------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		71	高齢者在宅生活援助事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（長寿・介護保険担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向		9-③ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。		
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、在宅のひとり暮らし等の高齢者に対し緊急通報装置の貸与や簡易な家事援助を行う。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		市窓口のほか、地域包括支援センターやケアマネージャー等からの申請により、要件に適合した高齢者に、在宅生活上での家事援助等を行った。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	緊急通報装置貸与、日常生活用具の支給または貸与、理美容サービス、在宅生活援助事業の実施。
	実績（評価）	緊急通報装置貸与設置台数:3,172台 日常生活用具の支給または貸与:自動消火器、電磁調理器等:13台、老人福祉電話:新規1台、廃止7台 訪問理美容サービス:138人(280回) 在宅生活援助事業:非該当・自立 利用人数2人(90時間)、要支援・要介護認定利用人数55人(494時間) ※高齢者在宅生活支援事業として実施。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	緊急通報装置貸与設置台数:3,149台 日常生活用具の支給または貸与:自動消火器、電磁調理器等:8台、老人福祉電話:新規5台、廃止13台 訪問理美容サービス:143人(309回) 介護認定非該当者や介護保険訪問介護利用者に簡易な生活援助を提供:380時間 ※高齢者在宅生活支援事業として実施。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	緊急通報装置貸与設置台数:3,060台 日常生活用具の支給または貸与:自動消火器、電磁調理器等:9台、老人福祉電話:新規3台、廃止3台 訪問理美容サービス:155人(295回)

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	緊急通報装置貸与設置台数:2,924台 日常生活用具の支給または貸与:自動消火器、電磁調理器等:7台、老人福祉電話:新規2台、廃止2台 訪問理美容サービス:134人(303回)
備考		

課題・今後の対応	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、多様なニーズに対応する生活支援サービスが不可欠であることから、介護保険の対象とならない生活支援サービスについて、民間事業所の参入等社会背景なども踏まえ、行政が行うべき事業を検討していく。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
介護保険給付に占める在宅サービスの割合	○		68.4	68.4	69.4	69.9	68.7	68.9	71.9	%
指標の説明			緊急通報システム事業等の利用については、ケアマネ等支援者により、申請に繋がる事例も少なくないことから、在宅生活において介護保険サービスの利用とともに、在宅支援事業の利用が促進されつつある。							当初目標値
居宅サービス及び地域密着型サービス給付費合計／介護保険給付費		70.8								

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	48,101	0	0	0	0	46,130	1,971
2017(H29)年度	48,061	0	0	0	0	46,331	1,730
2018(H30)年度	47,103	0	0	0	0	46,078	1,025
2019(R1)年度	45,469	0	0	0	0	44,499	970

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		72	介護予防・生活支援サービス事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（健康増進・介護予防担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向				
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	健康寿命の延伸をめざし、介護予防の取り組みを充実させ、高齢者の日常生活をサポートする重要な担い手として、高齢者が積極的に社会参加できる仕組みづくりに取り組む。		
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	要支援など軽度の人に対する適切な生活支援と介護予防を一体的に提供し、地域とともに高齢者が安心していきいきと活動できる基盤づくりを行う。		
	2018(H30)年度市政運営方針				
事業概要（目的・内容等）		介護保険制度改正に伴い、従来の介護専門職等による要支援状態を維持・向上させるサービスに加え、市独自の再び元気を取り戻すサービスを実施する。 社会情勢の変化にあわせ市独自に、介護人材不足の解消や高齢者がサービスの担い手として活躍できる多様なサービスを創設する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成27年の介護保険制度改正に伴い創設された介護予防・日常生活支援総合事業を実施するため、平成27・28年度の2年間で官民協働で事業内容の検討及び事業の周知を行い、平成29年4月から従来の2つのサービスと再び元気を取り戻すことを目的とした本市独自の7つのサービスを加え、9つのサービスで開始した。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	平成29年度開始事業のため平成28年度の取り組みなし。	
	実績（評価）		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・訪問型サービス(予防訪問事業、生活援助訪問事業、活動移動支援事業、通院等移動支援事業)を実施 ・通所型サービス(予防通所事業、教室型通所事業)を実施 ・その他の生活支援サービス事業(リハ職訪問通所指導事業、リハ職行為評価事業、栄養士派遣指導事業)を実施 ・介護予防ケアマネジメントを実施	
	実績（評価）	・市独自の新たなサービス(生活援助訪問事業、活動移動支援事業、通院等移動支援事業)を実施した。 ・市独自の新たなサービス(教室型通所事業)を実施した。 ・市独自の新たなサービス事業(リハ職訪問通所指導事業、リハ職行為評価事業、栄養士派遣指導事業)を実施した。 ・基本チェックリストを活用したアセスメントにより、適切な介護予防ケアマネジメントを実施した。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	・市独自の新たなサービス(生活援助訪問事業、活動移動支援事業、通院等移動支援事業)を実施した。 ・市独自の新たなサービス(教室型通所事業)を実施した。 ・市独自の新たなサービス事業(リハ職訪問通所指導事業、リハ職行為評価事業、栄養士派遣指導事業)を実施した。 ・自立支援に資する新たな市独自サービスの創設に向け、モデル事業の創設に向けた検証を始めた。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・市独自のサービス(生活援助訪問事業、活動移動支援事業、通院等移動支援事業)を実施した。 ・市独自のサービス(教室型通所事業)を実施した。 ・市独自のサービス事業(リハ職訪問通所指導事業、リハ職行為評価事業、栄養士派遣指導事業)を実施した。 ・自立支援に資する新たな市独自サービスの創設に向け、モデル事業の検証を始めた。
備考		

課題・今後の対応	高齢者の就労支援と介護人材不足の解消を目的に、掃除や買い物などの家事支援サービスにおける新たな担い手として市独自に養成している生活支援員が充足していないため、ハローワークに相談したところ、高齢者への情報提供ブースへの掲示につながったが、今後も引き続き、養成研修の開催回数・方法等について検討していく必要がある。 ひらかた高齢者保健福祉計画21（第8期）の策定に向け、サービスの実態調査及び分析しながら、独自サービスの見直し等を引き続き検討していく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
サービス利用者の状態改善率			-	-	-	93	90	95	60	%
指標の説明			リハビリテーション専門職が、身体機能だけではなく参加・活動にバランス良くアプローチし、身体機能及び意欲向上が向上。令和元年度利用者数22人の目標達成率は95%							当初目標値
リハ職訪問通所指導事業の利用者の状態改善率										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明										当初目標値

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	479,077	124,770	62,385	0	0	249,539	42,383
2018(H30)年度	996,334	227,662	124,542	0	0	498,167	145,963
2019(R1)年度	942,234	221,613	117,779	0	0	471,117	131,725

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		73	広域型老人福祉施設等整備事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部 (長寿・介護保険担当)
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向	9-④ 介護が必要となった時に質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。			
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係	3. 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
総合戦略との関係	基本目標	3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標	4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	平成28年度市政運営方針				
	平成29年度市政運営方針				
	平成30年度市政運営方針	○	介護を必要とする高齢者の増加を踏まえ、ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、広域型特別養護老人ホームの増築等による定員の拡大や地域密着型サービスの整備に向けた取り組みを進める。		

事業概要 (目的・内容等)	枚方市の区域に設置されている老朽化した老人福祉施設等の建て替えや、既存の老人福祉施設等を増築する場合、その費用の一部を補助することで、老人福祉施設等の整備を促進し、もって、高齢者の安全・安心な生活の確保を目指す。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成30年度当初新規事業			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標				
	実績(評価)				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・整備事業者選考・協議の実施			
	実績(評価)	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、既存広域型特別養護老人ホームの増築等(95床)を行う事業者の公募を行い、下記の事業者を整備事業候補者として選定した。 ・第3圏域 社会福祉法人美郷会(整備床数:50床) ・第4圏域 社会福祉法人大潤会(整備床数:11床) ・第5圏域 社会福祉法人松樹会(整備床数:30床) ・第13圏域 社会福祉法人秀美福祉会(整備床数:4床)			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・事業者による整備(建て替え、増築)
	実績(評価)	平成30年度に選定した整備事業候補者のうち、社会福祉法人大潤会(整備床数:11床)および社会福祉法人秀美福祉会(整備床数:4床)については、令和元年度中に整備が完了した。 社会福祉法人美郷会(整備床数:50床)および社会福祉法人松樹会(整備床数:30床)については、令和元年度内の工事着工が遅れたため、令和2年度中の建物竣工を目指すこととした。
備考		

課題・今後の対応	老人福祉施設等の老朽化や、要介護高齢者の増加に伴う特別養護老人ホームの需要への対応など、必要に応じて事業者による整備を行う。第7期計画期間での整備に遅れが生じないよう事業者に進捗状況を確認する。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績(評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 R1	単位
広域型老人福祉施設等整備事業による補助件数(建替え)			-	-	-	-	0	0	1	件
指標の説明			広域型老人福祉施設(四天王寺松風荘)との協議を行った。						当初目標値	達成年度
広域型老人福祉施設等整備事業により補助を受けて整備を行った件数(累計)										
指標名	施策指標	指標の実績(評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 R1	単位
広域型老人福祉施設等整備事業による補助床数(増築)			-	-	-	-	0	0	80	床
指標の説明			令和元年度内の工事着工が遅れたため、令和2年度中の建物竣工を目指すこととした。						当初目標値	達成年度
広域型老人福祉施設等整備事業により補助を受けて整備を行った床数(累計)										
指標名	施策指標	指標の実績(評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 R1	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績(評価)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値 R1	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	219	0	0	0	0	0	219
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	, 用地費		千円)
--------------	------	-------	--	----	-------	--	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		74	公的介護保険施設等基盤整備補助事業		部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（長寿・介護保険担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-④ 介護が必要となった時に質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。			
	（関連施策目標等）					
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度 市政運営方針					
	2017(H29)年度 市政運営方針					
	2018(H30)年度 市政運営方針					
事業概要 （目的・内容等）			大阪府地域医療介護総合確保基金を活用し、「ひらかた高齢者保健福祉計画21(第6期)」に定める公的介護施設の整備等を行う事業者に対する補助を行う。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		ひらかた高齢者保健福祉計画21(第6期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を行う事業者の公募を行い、下記の社会福祉法人を整備事業候補者として選定した。 ・第4圏域 社会福祉法人大潤会(整備施設:地域密着型特養、小規模多機能型居宅介護) ・第12圏域 社会福祉法人松樹会(整備施設:地域密着型特養、小規模多機能型居宅介護)			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	昨年度選定した上記の社会福祉法人が整備を行う地域密着型特養に対し補助金を交付する。 選定されなかった日常生活圏域について引き続き、公募を行う。			
	実績（評価）	平成27年度に地域密着型特別養護老人ホーム2箇所の整備を行う整備事業候補者を選定したが、平成28年度内の工事着工が遅れたため、平成29年度中の着工及び建物竣工を目指すこととした。 平成28年度に地域密着型特別養護老人ホーム1箇所の整備を行う整備事業候補者を選定した。 ・第7圏域 社会福祉法人毅正会(整備施設:地域密着型特養、認知症対応型共同生活介護)			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	選定した社会福祉法人等が整備を行う地域密着型特養に対し補助する。 ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)を策定し、介護保険施設等の介護給付を適切に見込む。			
	実績（評価）	平成27年度に選定した地域密着型特別養護老人ホーム2箇所及び平成28年度に選定した地域密着型特別養護老人ホーム1箇所について、平成29年度中の着工及び建物竣工を行い、補助金を交付した。 平成30年度から32年度までの新たな介護保険施設等の整備を含む介護給付費を見込んだひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)を策定した。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を行う事業者の公募を行う。			
	実績（評価）	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を行う事業者の公募を行い、下記の事業者を整備事業候補者として選定した。 ・第3圏域 医療法人美盛会(整備施設:認知症対応型共同生活介護) ・第8圏域 有限会社陽春(整備施設:認知症対応型共同生活介護) ・第11圏域 社会福祉法人松樹会(整備施設:地域密着型特養、看護小規模多機能型居宅介護)			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を行う事業者の公募を行う。
	実績(評価)	ひらかた高齢者保健福祉計画(第7期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を行う事業者の公募を行い、下記の事業者を整備事業候補者として選定した。 ・第11圏域 医療法人みどり会(整備施設:認知症対応型共同生活介護) ・有限会社はなまる(整備施設:特定施設入居者生活介護)
備考		

課題・今後の対応	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)に基づき、平成30年度・令和元年度に整備事業候補者を選定した地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、介護施設等の基盤整備を進める。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
介護保険施設等の施設数		○		80	81	81	83	86	94	89	施設	
指標の説明				令和元年度は、平成30年度に選定した地域密着型特別養護老人ホームおよび認知症対応型共同生活介護の工事着工が遅れ、整備が完了しなかったため、令和2年度中の建物竣工を目指すこととした。							当初目標値	達成年度
特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	476,113	0	476,113	0	0	0	0
2018(H30)年度	7,603	0	7,603	0	0	0	0
2019(R1)年度	73,096	0	73,096	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	, 用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	-------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		75	介護予防事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（健康増進・介護 予防担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向		9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。		
	（関連施策目標等）				
	（関連施策目標等）				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明	○	健康寿命の延伸をめざし、介護予防の取り組みを充実させる。		
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	介護予防対策として、「ひらかた元氣くらわんか体操」の活用やリハビリテーションの専門職員との連携など、地域における介護予防の取り組みを支援する。		
	2017(H29)年度 市政運営方針				
	2018(H30)年度 市政運営方針				

事業概要 （目的・内容等）	高齢者の健康増進を図り、要介護状態となることを予防するため、介護予防に関する知識の普及や啓発のための介護予防教室等の実施や、パソコン・写真・絵手紙などの連続講座を開催する「生きがい創造学園」を実施する。また、高齢者の健康づくりのための「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及により、地域での継続的な活動を支援する。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況		①各種講座を開催する「高齢者健康づくりプロジェクト」、総合的な介護予防教室「元氣アップ総合講座」で、地域で気軽に介護予防の意識づくりの場の開催など、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行ってきた。 ②「生きがい創造学園」の各講座を開催してきた。 ③「ひらかた元氣くらわんか体操」の本格実施に向けて、平成27年11月からモデル事業開始した。(6グループ実施予定)	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・介護予防に向けた講座や教室等の開催 ・生きがい創造学園の実施 ・「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及	
	実績（評価）	・二次予防事業として虚弱な高齢者を対象とした教室の開催、介護予防普及啓発事業として、市全域を対象とした「高齢者健康づくりプロジェクト」の実施、身近な地域で開催する「元氣はつらつ健康づくり事業」など、様々な講座や教室を開催した。 ・生きがい創造学園では、各15回の講座を20講座から一つ増やし、21の講座を開催した。 ・体験出前講座、週1回以上継続して行うグループへのスタート支援や継続支援、普及員講習など、「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及啓発に取り組んだ。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・介護予防に向けた講座や教室等の開催 ・生きがい創造学園の実施 ・「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及	
	実績（評価）	・介護予防普及啓発事業として、「歩く」を支援するため、商業施設(イオン枚方店)に介護予防拠点を開設し、「エクサルク教室」や「高齢者健康づくりプロジェクト」の実施、身近な地域で開催する「元氣はつらつ健康づくり事業」など、様々な講座や教室を開催した。 ・生きがい創造学園では、講座修了者の活動を支援するためOB・OG会の「学園祭」を開催した。 ・体験出前講座、普及員講習など、「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及啓発に取り組んだ。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	・介護予防普及啓発事業として、「歩く」を支援するため、商業施設(イオン枚方店)の介護予防拠点において、「エクサルク教室」等の実施、身近な地域で開催する「元氣はつらつ健康づくり事業」など、様々な講座や教室を開催した。 ・生きがい創造学園では、講座修了者の活動を支援するためOB・OG会の「学園祭」を開催し、介護予防ポイント事業(生き生きマイレージ)のサポーター登録を受講要件とした。 ・体験出前講座、普及員講習など、「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及啓発に取り組んだ。	

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・介護予防普及啓発事業として、「歩く」を支援するため介護予防拠点を市民会館大ホールロビーと商業施設（イズミヤ枚方店）に移転し、「エクサルク教室」とあわせて「ノルディック・ウォーク講座」を実施、身近な地域で開催する「元気はつらつ健康づくり事業」など、様々な講座や教室を開催した。 ・生きがい創造学園では、講座修了者が介護予防ポイント事業（生き生きマイレージ）のサポーターとして活動できる仕組みを構築した。 ・「ひらかた元氣くらわんか体操」の普及啓発を続け、実施グループが増加するよう取り組んだ。
備考		

課題・今後の対応	小学校区を単位に住民が主体となって設置している元氣づくり・地域づくり会議により、地域を基盤とした自主的な健康づくり・介護予防活動が推進されているが、本活動への支援については、各地域の実情に応じて柔軟に検討しながら進めていく必要がある。 介護予防に興味・関心がない層へのアプローチ方法として効果的とされる、人の往来が多い公園等での介護予防イベント（健活フェスタ）の開催については、より良い効果がでるよう回数や実施場所の検討を行っていく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
介護予防教室等の参加率		○		13.8	24.8	22.9	20.9	22.8	24.0	16	%	
指標の説明				平成27年度に介護保険制度改正により、対象となる介護予防事業が増えたため、介護予防教室等の参加者数が増加。							当初目標値	達成年度
介護予防教室等の参加者数／65歳以上の人口												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
「ひらかた元気くらわんか体操」の実施団体数				-	6	59	178	192	295	200	団体	
指標の説明				平成27年度はモデル事業として自主グループ6団体で実施。 平成29年度から高齢者居場所でも体操を実施しており、平成30年度の高齢者居場所の増加に伴い令和元年度に取り組む団体がさらに増加したものの。							当初目標値	達成年度
「ひらかた元気くらわんか体操」の実施団体数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費（決算ベース）

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	49,426	12,003	6,001	0	1,416	24,005	6,001
2017(H29)年度	46,007	11,199	2,600	0	1,214	22,397	8,597
2018(H30)年度	47,179	10,780	5,897	0	1,524	23,589	5,389
2019(R1)年度	48,330	10,936	5,812	0	1,834	23,248	6,500

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費	0 千円	，用地費	0 千円	）
--------------	------	-------	------	------	------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		76	高齢者居場所づくり助成事業		部・課	健康福祉部（健康増進・介護予防担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。			
	（関連施策目標等）		6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			
	（関連施策目標等）					
との総合戦略関係	4つの重点的に進める施策との関係		3. 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと健康に暮らすことができるまちづくりを進めていくためには、地域医療や介護体制の充実など、いつまでも元気で、生きがいを持って暮らせる環境や体制の充実が必要だと考えています。			
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針	○	高齢者が気軽に外向くことができる身近な集いの場について、平成30年度までに市内100カ所の設置をめざすとともに、外出の付き添いを支援する。			
	2018(H30)年度市政運営方針	○	高齢者の社会参加を促し、孤立の防止、見守りの体制づくりを促進するため、高齢者の居場所を市内に100カ所設置できるよう、引き続き支援に取り組む。			
事業概要 （目的・内容等）			・高齢者が住みなれた地域で、できる限り長く自立した生活を継続できるようにする「地域包括ケアシステム」構築の取り組みの一環として、地域での交流・活動・介護予防の拠点となる居場所づくりを推進する。 ・高齢者を中心として定期的に開かれる「居場所」の開設にあたり、初期費用を助成する。（助成対象経費：軽易な施設改修費及び備品購入費）			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		高齢者が住み慣れた地域の中で、健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり、交流することができる居場所を創ることで、閉じこもりを防ぎ、高齢者の社会参加、生きがいづくり、介護予防の促進を図るため、平成29年8月から事業を開始。平成29・30年度の2か年で100カ所の居場所を設置する。 ※平成29年度当初新規事業			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績（評価）				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	50カ所居場所の開設と、開設にあたる初期費用の助成			
	実績（評価）	51カ所の居場所の登録を行い、うち45カ所に開設にあたる初期費用を助成した。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績（評価）	累計101カ所の居場所の登録を行い、うち平成30年度には47カ所に開設にあたる初期費用を助成した。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進 【変更(平成31年度当初)】 ・助成要件変更
	実績(評価)	累計116か所の居場所の登録を行い、うち令和元年度には14か所に開設にあたる初期費用を助成した。
備考		

課題・今後の対応	居場所を継続または発展するための効果的な支援体制の構築に向け、専門職による支援や交流会の開催など検討する。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
開設した居場所数			-	-	-	51	101	116	100	か所
指標の説明								当初目標値	達成年度	
市内で開設された居場所の数										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
居場所の利用者数			-	-	-	18,221	76,871	102,751	12,000	人
指標の説明								当初目標値	達成年度	
市内の居場所を利用した延べ人数										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	8,538	0	0	0	0	8,538	0
2018(H30)年度	8,287	0	0	0	0	8,287	0
2019(R1)年度	2,442	0	0	0	0	2,442	0

整備事業の場合の総事業費 0 千円 (建設経費 0 千円 , 用地費 0 千円)

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		77	高齢者外出支援事業		部・課	地域健康福祉部 健康福祉部（長寿・介護保険担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度 市政運営方針					
	2017(H29)年度 市政運営方針					
	2018(H30)年度 市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			高齢者が経済的な状況により外出を控えがちとならないよう、高齢者の外出を支援することで要介護状態への進行を予防し、高齢者の生きがいと社会参加を促進する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		経済的な状況で高齢者が外出を控えがちとならないよう、69歳以上の市民税非課税の方を対象に、バスや電車を利用する際に、磁気カードを割引価格で購入ができる購入券を、毎年9月の高齢者保健福祉月間に送付。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・バスカードを割引で購入できる購入券の配布と、一般のKカードを購入した場合の500円補助 ・新制度の構築に向けた検討			
	実績（評価）	当事業専用のスルッとKANSAI Kカードの作成及び窓口販売が中止となることを受け、事業内容の一部を変更した上で実施した。バスカードの購入については従前のとおりであるが、スルッとKANSAI Kカードについては駅券売機で購入したのち、割引分を現金で還元。 対象者49,120人に高齢者外出支援カード購入券を送付し、そのうち15,043人が利用し、バスカードは41,281枚、Kカードは5,537枚の利用があった。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	変更後の内容による事業実施。			
	実績（評価）	8月末現在69歳以上の市民税本人非課税の対象者を抽出し、高齢者福祉月間である9月に交通系ICカード購入等助成事業補助金申込書（請求書）等を送付し、交通系ICカードを2,000円以上購入またはチャージした方に対し、1,000円を指定口座に振り込む。 対象者52,103人に対し、13,890人の申請があった。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	変更後の内容による事業実施。			
	実績（評価）	8月末現在69歳以上の市民税本人非課税の対象者を抽出し、高齢者福祉月間である9月に交通系ICカード購入等助成事業補助金申込書（請求書）等を送付し、交通系ICカードを2,000円以上購入またはチャージした方に対し、1,000円を指定口座に振り込む。 対象者54,667人に対し、18,079人の申請があった。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	-
	実績（評価）	-
備考		

課題・今後の対応	高齢者外出支援カード配付事業の終了に伴い、平成29、30年度の2年間は、経過措置として交通系ICカード購入等助成事業を実施した。令和元年度からは、高齢者の外出支援策の一環として「高齢者お出かけ推進事業」を実施。		
達成状況（実行計画）	◎:事業完了・目標達成	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
外出支援カードの利用者数(H28まで) 交通系ICカード購入等助成事業補助申請者数(H29から)				—	15,808	15,043	13,890	18,079	—	8,063	人	
指標の説明				令和元年度からは、高齢者の外出支援策の一環として「高齢者お出かけ推進事業」を実施。							当初目標値	達成年度
カードの利用補助申請者数(H28まで) 交通系ICカード購入等助成事業補助申請者数(H29から)												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	29,931	0	0	0	0	0	29,931
2017(H29)年度	22,846	0	0	0	0	0	22,846
2018(H30)年度	26,806	0	0	0	0	0	26,806
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	, 用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	-------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		78	高齢者お出かけ推進事業		部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（長寿・介護保険担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。			
	（関連施策目標等）					
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明		○	健康寿命の延伸をめざし、介護予防の取り組みを充実します。		
	2016(H28)年度 市政運営方針					
	2017(H29)年度 市政運営方針					
	2018(H30)年度 市政運営方針					
事業概要 （目的・内容等）			65歳以上の市民を対象に『(仮称) 高齢者お出かけ推進手帳』を配付し、長寿社会部が設定する高齢者の外出支援につながる事業等に参加した市民に、手帳に貼付する「高齢者専用ポイント」を付与する。手帳に貯めた「高齢者専用ポイント」は、「ひらかたポイント」へ交換できるほか、(仮称) 高齢者お出かけ推進チケットに交換して、老人福祉センター（総合福祉センター・楽寿荘）ほか公共施設の使用料の割引券等として活用することができる。『(仮称) 高齢者お出かけ推進手帳』は、平成31年4月から暫定版を配付し、9月からポイント付与対象事業や活用先を追加する完全版を配付する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成31年度(令和元年度)新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績（評価）		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標		
	実績（評価）		
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	平成31年度(令和元年度)からの事業開始に向けて「高齢者お出かけ推進手帳」等を作成するとともに、事業の周知を行う。	
	実績（評価）	平成31年度(令和元年度)からの事業開始に向けて「高齢者お出かけ推進手帳」等を作成するとともに、事業の周知を行った。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	高齢者の外出支援につながる事業等に参加した市民にポイントを付与する。平成31年4月から開始するポイント付与対象事業は、①楽寿荘教養講座②総合福祉センター各種講座③ひらかた生き生きマイレージ④介護予防普及啓発事業⑤認知症サポーター養成講座。令和元年9月からは⑥高齢者居場所づくり事業⑦街かどデイハウス事業を追加する予定。
	実績（評価）	平成31年4月から①楽寿荘教養講座②総合福祉センター各種講座③ひらかた生き生きマイレージ事業④介護予防普及啓発事業⑤認知症サポーター養成講座の参加者へポイントを付与した。令和2年2月からはポイント付与の対象として登録された⑥高齢者居場所の参加者へもポイントを付与した。また、令和元年9月には令和2年度も使用できる高齢者お出かけ推進手帳14,000部を作成した。
備考		

課題・今後の対応	高齢者お出かけ推進事業の推進に向け、手帳を積極的に配布するなど事業周知に努めるとともに、ポイント付与対象事業の追加、ポイント交換場所の増設など事業拡充の検討を進める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
お出かけ推進手帳配付部数			-	-	-	-	-	4,835	20,000	部	
指標の説明			平成30年度に作成した6,000部に加え、令和元年度に令和2年度も使用できる14,000部を作成。主にポイント付与対象事業の参加者へ手帳を配付した。							当初目標値	達成年度
65歳以上の市民に配付した手帳の部数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
高齢者へのポイント付与数			-	-	-	-	-	991,540	9,674,000	ポイント	
指標の説明			平成31年度は、楽寿荘教養講座、総合福祉センター各種講座、ひらかた生き生きマイレージ事業、介護予防普及啓発事業、認知症サポーター養成講座及び、ポイント付与の対象として登録された高齢者居場所の参加者へポイントを付与した。							当初目標値	達成年度
高齢者お出かけ推進事業で付与したポイント数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	578						578
2019(R1)年度	1,281						1,281

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	千円	，用地費	千円)
--------------	------	-------	----	------	----	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		79	認知症予防プログラム推進事業		部・課	地域健康福祉室 健康福祉部（健康増進・介護 予防担当）
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
	取り組みの方向		9-⑤ 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。			
	（関連施策目標等）					
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	認知症対策として、大阪府立精神医療センターと連携した認知症予防プログラムを推進する。			
	2017(H29)年度 市政運営方針					
	2018(H30)年度 市政運営方針	○	認知症予防の取り組みとして、予防プログラムを行うとともに、さらに効果がある取り組みを検討します。			
事業概要 （目的・内容等）			効果的で持続可能な認知症予防の方法を身近な地域において展開できるように、大阪府立精神医療センターと共同で枚方版認知症予防プログラムを推進する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成27年度に健康医療都市ひらかたコンソーシアムに「認知症予防部会」を設置し、認知症予防の有効的な手段の開発、検証を行うとともに、地域への推進方法についての検討を行う。 また、大阪精神医療センターと共同で枚方版認知症予防プログラムの実施。				
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①枚方市版認知症予防プログラム「こころとからだ生き生き教室」の実施 ②社会福祉協議会と連携し、小地域ネットワーク活動における地域展開方法の確立				
	実績（評価）	①1教室あたり8回の連続講座を2教室実施し、延175人が参加した。 ②精神医療センターと地域出前型のプログラムの検討および、社会福祉協議会と具体的な展開方法の検討し、平成29年度地域展開実施に向けて方向性の共有を図った。				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①→推進 ②小地域ネットワーク活動における認知症予防プログラムの実施 ③認知症予防プログラムの啓発				
	実績（評価）	①1教室あたり14回の連続講座を1教室実施し、延462人が参加した。 ②精神医療センターと地域出前型のプログラムの検討および、社会福祉協議会と具体的な展開方法を検討し、平成29年度は12校区18回開催、延768人が参加した。				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進				
	実績（評価）	①1教室あたり14回の連続講座を1教室実施し、延387人が参加した。 ②引き続き精神医療センターと地域出前型のプログラム内容の検討および、社会福祉協議会と具体的な展開方法を検討。 平成30年度は6校区11回開催、延350人が参加した。				

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	①認知機能評価の充実のため「脳力チェック健診」をモデル的に実施(2回、延51人参加) 「認知症予防プログラム　こころとからだ生き生き教室」の実施(1回、延15人参加) ②地域型認知症予防プログラムをモデル的に実施(1校区に対して、10回141人参加)
備考		

課題・今後の対応	平成29年度から1校区あたり複数回の出前講座を通して、小学校区のいきいきサロンに大阪精神医療センターと開発した地域版の包括的認知症予防プログラムの普及啓発を進めていた。 より効果的継続的に実施していくには、スタッフ側へのアプローチが必要との声が上がったため、令和元年度から出前講座を地域住民に実施するとともに、モデル的にスタッフ支援も含めて行う方法に変更して実施した(1校区10回)。 今後はモデル実施した結果を踏まえ、地域住民を対象とした出前講座を3回、地域団体が自ら持続的に認知症予防の視点を持った活動を行うことができるようスタッフ支援としての講座を3回実施することとし、1校区で行う出前講座を合計6回行い、プログラムの推進を図る。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
小地域ネットワーク活動における認知症予防プログラムの実施			－	－	0	12	6	1	45	校区	
指標の説明			令和元年度は地域の声を反映するため、実施方法を変更し、モデル的に1校区に対して10回出前講座を行った。今後はモデル実施の結果を踏まえ、地域団体自ら持続的に活動できるようスタッフ支援への講座を加えて、1校区あたり合計6回実施する。							当初目標値	達成年度
小地域ネットワーク活動における認知症予防プログラムの実施している校区数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名	80	高齢者社会参加促進事業	部・課	地域健康福祉室 健康福祉部 (健康増進・介護 予防担当)
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等	9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向	9-⑥ 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。		
	(関連施策目標等)			
	(関連施策目標等)			
	4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標			
	施策目標			
市長公約との関係	＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明	○	高齢者の日常生活をサポートする重要な担い手として、高齢者が積極的に社会参加できる仕組みづくりに取り組む。	
	2016(H28)年度 市政運営方針	○	高齢者の社会参画を促進するため、市民参加によるさまざまな活動の場である街かどデイハウスを計画的に拡大する。介護予防ポイント事業については、高齢者が活躍できる施設を拡大する。	
	2017(H29)年度 市政運営方針	○	街かどデイハウスを増設するとともに、介護予防ポイント事業の拡充を行うなど、高齢者の多様な社会参加を促進する。	
	2018(H30)年度 市政運営方針			
事業概要 (目的・内容等)		・高齢者の社会参加を促進し、介護予防や生きがいづくりにつなげるため、住み慣れた地域で住民参加によるレクリエーション等の活動を行う「街かどデイハウス」を支援する。 ・高齢者が介護保険施設等でサポーター活動を行い、取得したポイントを商品券などと交換できる「ひらかた生き生きマイレージ」を実施する。		

取り組み状況

これまでの取り組み状況	・13の日常生活圏域に1か所の設置を目標とし、平成27年度現在10か所の街かどデイハウスを設置する。 ・平成27年度は113名のサポーターより更新手続きがあり、3回のサポーター新任研修会を行うことで、サポーター登録者は平成27年9月末現在173名となる。 ・シルバー人材センター活動に対し、補助金を交付することによる支援を行ってきた。		
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①街かどデイハウスに対する支援、街かどデイハウスの1箇所増設(全11箇所) ②ひらかた生き生きマイレージの実施 ③シルバー人材センターに対する支援	
	実績(評価)	①街かどデイハウスの運営事業者を選定し、2か所増設に向けて施行実施を開始した。 ②平成28年度は、3回のサポーター新任研修会を行い96名が受講。サポーター登録者数は210名となる。 ③シルバー人材センター補助金を交付した。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績(評価)	①街かどデイハウスの運営事業者を選定し、1か所増設した。 ②平成29年度は、3回のサポーター新任研修会を行い91名が受講。サポーター登録者数は240名となる。 ③シルバー人材センター補助金を交付した。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績(評価)	①街かどデイハウスは、事業内容の検証と見直しについて運営事業者と協議し、衛生管理について見直した。 ②平成30年度は、3回のサポーター新任研修会を行い87名が受講。生きがい創造学園修了者を含み、サポーター登録者数は332名となる。 ③シルバー人材センター補助金を交付した。	

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	①街かどデイハウスは、事業内容の検証と見直しについて運営事業者と協議を続けた。 ②令和元年度は、3回のサポーター新任研修会を行い40名が受講。生きがい創造学園修了者を含み、サポーター登録者数は361名となる。 ③シルバー人材センターへ補助金を交付した。
備考		

課題・今後の対応	サポーター活動は自身の介護予防や健康維持を図るためであることから、多様なニーズに対応できるよう毎年サポーターの活動の場の拡充、元気高齢者の増加につながるサポーター登録者数の増加を引き続き行っていく。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
ひらかた生き生きマイレージ(介護予防ポイント事業)による活動件数		○		645	2,553	3,778	4,504	4,079	4,205	3,900	件	
指標の説明				令和元年度末のサポーター登録者数は361名。							当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円								① 40,420,000円(一般) ② 5,598,500円(特会)
年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源	
2016(H28)年度	53,457	1,579	789	0	0	3,157	47,932	
2017(H29)年度	58,123	1,561	837	0	0	3,459	52,266	
2018(H30)年度	57,768	1,156	632	0	0	2,639	53,341	
2019(R1)年度	51,083	1,304	700	0	0	2,894	46,185	

整備事業の場合の総事業費 0千円 (建設経費 0千円 , 用地費 0千円)

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		81	保育所(園)・幼稚園における世代間交流事業	部・課	子ども未来部 私立保育幼稚園課 公立保育幼稚園課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向		9-⑥ 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		4 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	高齢者の生き生きとした暮らしにつながるよう、高齢者と保育所(園)・幼稚園の子どもたちとの世代間交流を図るため、園行事への高齢者の招待や、園児の老人ホームへの訪問等の取り組みを行う。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		・園行事への高齢者の招待や、園児の老人ホームへの訪問等の取り組みを行った。 ・幼児が発達段階に応じた豊かな生活体験が得られるよう、全幼稚園において、高齢者など身近な人に親しみ、かわりを深める取り組みを実施してきた。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・園行事への高齢者の招待や園児の老人ホームへの訪問 ・生涯学習市民センターなどで高齢者から伝承遊びを教えてもらうなどの交流促進
	実績(評価)	各公私立保育所(園)において高齢者との交流を実施した。 (公立保育所における実績)・地域の生涯学習市民センターで開催される『高齢者のつどい』『いきいきサロン』等の交流会への参加し、民舞やダンスを披露し一緒に楽しんだ。・近隣のデイサービス施設に5歳児クラスの子ども達が出向き、高齢者とうたやあそびを一緒に楽しんだ。・保育所に招待し、小運動会での交流を行った。(4・5歳児クラスが交流) (幼稚園における実績)・各幼稚園において、敬老の集いや特別養護老人ホーム訪問など的高齢者との世代間交流を実施した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績(評価)	各公私立保育所(園)において高齢者との交流を実施した。 (公立保育所における実績) 高齢者と公立保育所の5歳児が交流した。・地域の生涯学習市民センターで開催される『高齢者のつどい』『いきいきサロン』等の交流会に参加し、民舞やダンスを披露して交流を図った。・近隣のデイサービス施設に5歳児クラスの子ども達が出向き、高齢者とうたやあそびを一緒に楽しんだ。・地域の高齢者に保育所に出向いていただき、各クラスで絵本の読み聞かせをしてもらうなど交流を楽しんだ。 (市立幼稚園における実績) ・各幼稚園において、敬老の集いや特別養護老人ホーム等との交流を通じて高齢者との世代間交流を実施した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績(評価)	各公私立保育所(園)において高齢者との交流を実施した。 (公立保育所における実績) 高齢者と公立保育所の5歳児が交流した。・地域の生涯学習市民センターで開催される『高齢者のつどい』『いきいきサロン』等の交流会に参加し、民舞やダンスを披露して交流を図った。・近隣のデイサービス施設に5歳児クラスの子ども達が出向き、高齢者とうたやあそびを一緒に楽しんだ。・地域の高齢者に保育所に出向いていただき、各クラスで絵本の読み聞かせをしてもらうなど交流を楽しんだ。 (市立幼稚園における実績) ・各幼稚園において、伝承遊びの集いや敬老の集い等を企画し、在園児と的高齢者との世代間交流を実施した。また、特別養護老人ホームへの訪問や地域の高齢者との集い、いきいきサロン等へ参加し、地域の高齢者とも積極的に交流した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	各公私立保育所（園）において高齢者との交流を実施した。 （公立保育所における実績） 高齢者と公立保育所の5歳児が交流した。・地域の生涯学習市民センターで開催される『高齢者のつどい』『いきいきサロン』等の交流会に参加し、民舞やダンスを披露して交流を図った。・近隣のデイサービス施設に5歳児クラスの子ども達が出向き、高齢者とうたやあそびを一緒に楽しんだ。・地域の高齢者に保育所に出向いていただき、各クラスで絵本の読み聞かせをしてもらうなど交流を楽しんだ。 （市立幼稚園における実績） ・各幼稚園において、伝承遊びの集いや敬老の集い等を企画し、在園児と的高齢者との世代間交流を実施した。また、特別養護老人ホームへの訪問や地域の高齢者との集い、いきいきサロン等へ参加し、地域の高齢者とも積極的に交流した。
備考		

課題・今後の対応	<p>（保育園） 現状、付近の高齢者施設の状況などの地域特性により、保育所ごとに取り組み内容に差異があり、高齢者との交流をさらに積極的に進めてく必要がある。</p> <p>（市立幼稚園） 引き続き、各幼稚園において、敬老の集いや特別養護老人ホーム等との交流を通じて高齢者との世代間交流を実施する。</p>		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
高齢者との交流				100	100	100	100	100	100	100	100	%
指標の説明				高齢者の生き生きとした暮らしにつながるよう、高齢者と保育所(園)・幼稚園の子どもたちとの世代間交流を図るため、園行事への高齢者の招待や、園児の老人ホームへの訪問等の取り組みを行った。全ての施設において、一定の交流は図れており、今後も積極的に進めていく。							当初目標値	達成年度
行事等において高齢者との交流を実施している保育所及び幼稚園の割合												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費（決算ベース）

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	0	0	0	0	0	0	0

単位:千円

整備事業の場合の総事業費	0 千円	（建設経費	0 千円	，用地費	0 千円	）
--------------	------	-------	------	------	------	---

(様式2) 実行計画管理シート

事業名	82	高齢者等在宅生活環境整備連携事業	部・課	健康福祉部 健康福祉総務課
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等	9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向	9-⑦ 大阪府の「スマートエイジング・シティ」構想との連携など、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。		
	(関連施策目標等)			
	(関連施策目標等)			
	4つの重点的に進める施策との関係	3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標			
	施策目標			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞	
	所信表明			
	2016(H28)年度 市政運営方針			
	2017(H29)年度 市政運営方針			
	2018(H30)年度 市政運営方針			
事業概要 (目的・内容等)		高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らすことができるよう、大阪府の「スマートエイジング・シティ」構想との連携などの取り組みを進める。		

取り組み状況

これまでの取り組み状況	大阪府関係部署による勉強会や庁内関係部課会議を実施し、「スマートエイジング・シティ」構想に関する情報収集等を行った。		
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「スマートエイジング・シティ」構想に関する情報収集、大阪府と連携できる分野の模索	
	実績（評価）	取り組み実績なし	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	取り組み実績なし	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	取り組み実績なし	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	取り組み実績なし
備考		

課題・今後の対応	取り組みを進めるにあたり、大阪府との協議・連携が必要である。		
達成状況（実行計画）	△:課題が多く、遅れあり	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	0	0	0	0	0	0	0
2018(H30)年度	0	0	0	0	0	0	0
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）